

## 27. <sup>はまかいどう</sup>浜街道—<sup>やりみずとうげごえ</sup>鎌水峠越

選定箇所：道了堂～鎌水峠下（東京都八王子市）

概要：「絹の道」の愛称でも親しまれているこの道は、幕末から明治の中ごろにかけて輸出用の生糸が多数運ばれた道であった。当時、八王子は周辺地域で生産される生糸の集積地であり、生糸は西洋への輸出品として需要が高く、八王子から横浜まで生糸を運ぶ交通路としては利用された。八王子市では、市内にわずかに残る当時の道の一部を市の指定史跡とし、道沿いにある生糸商人・八木下要右衛門家屋敷跡に「絹の道資料館」を開館した。

